

私たちが取り組める SDGs 活動

SDGs は一見、日常生活とかけ離れているように思えるかもしれませんが、しかし、私たちの生活のすぐ近くに SDGs につながる取り組みはたくさんあります。

一人ひとりの取り組みが大きな変化につながります。身の回りにある、私たちにできることから始めてみませんか。

- 使っていない電気やテレビをこまめに消す
- 地元の店で地元産のものを買う
- マイバッグを持参する
- できるだけ簡易包装の商品を買う
- 食品ロスを減らすため賞味期限の短い食材から買う
- 食べきれない食品は早めに冷凍する
- 水道の蛇口はこまめに止める
- 風呂の水を散水や洗濯に再利用する



国見町は SDGs に取り組んでいるの？

令和3年3月に国見町が策定した「第6次国見町総合計画 KuniMirai2030」では、SDGs をより身近なものとして感じてもらえるよう、SDGs の基本理念を基本計画に反映させています。

基本計画の各分野施策と SDGs の 17 の目標を紐づけることで、各施策の推進と同時に SDGs の達成に取り組んでいきます。「持続可能なまち」を目指す国見町は SDGs の考え方を積極的に取り入れ、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、さまざまな施策を実施していきます。



第6次国見町総合計画

国見町の取り組み（一部抜粋）

人が集まりまた来たくなるまち



定住・二地域居住の促進

子育て住宅の建設や移住者に対するさまざまな支援制度を実施し、首都圏からの移住定住や二地域居住を推進しています。移住希望者のニーズを的確に把握し、町の魅力を効果的に PR することで、地域活性化を図り、新たな暮らし方を提案していきます。



建設中の板橋南子育て住宅

安心して子どもを産み育てられるまち



給食費無償化

令和3年4月から幼・小・中の子どものための給食費無償化を実施し、子育て世代への負担軽減を図っています。また、学校給食を活用した食育を推進することで、子どもたちの「食べる力」「感謝の心」「郷土愛」を育むことを目指しています。



安心安全な給食の提供

おいしい農産物のあるまち



くみにみ農業ビジネス訓練所

担い手育成や新規就農促進、農業技術の向上や町産野菜のブランド化などの推進を目的として訓練所を運営しています。新規就農希望者等に対して野菜栽培の基礎や実践技術の研修を行うなど、農業環境の充実や人材育成に取り組んでいます。



講習を受ける長期研修生たち

未来のために私たちができること——

国見の未来を SDGs と考える

最近、ニュースや新聞などで SDGs という言葉を目にしたことはありませんか。この言葉は、この先の未来に向けて、世界中の人々がよりよい社会の実現を目指し、誰もがより幸せに暮らすための世界共通の目標です。

まずは SDGs について知り、皆さんも一緒に町の未来を考えてみませんか？

持続可能な社会の実現へ

飢餓や教育格差、環境問題。これらのさまざまな課題を解決し、これから先もこの地球で豊かに生活を続けられる社会をつくるため、2015年9月の国連サミットで SDGs (Sustainable Development Goals) が全会一致で採択されました。「地球上の誰一人取り残さない」(leave no one behind) という持続可能な社会の実現を目指し、2030年までに達成すべき 17 のゴール (目標) と 169 のターゲット (具体的な指標) が設定されました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs の 3 つのポイント

- 誰一人として取り残さない
- 今だけでなく未来に向けて
- みんなが一緒に取り組む目標

世界の共通目標 SDGs

2020年、新型コロナウイルス感染症が世界規模で瞬く間に拡大したことからも明らかなように、グローバル化が進んだ現代社会においては、国境を超えて影響を及ぼす課題により一層、国際社会が団結して取り組む必要があります。SDGs に掲げられた目標の達成には、国、地方自治体、企業だけでなく私たち一人ひとりの意識の変化と行動が求められているのです。